

越上山に参加をして・・・

12月2日の越上山清掃登山に参加させていただきました。天気は快晴で、登山を行うのに最高日和でした。今回は二回目の参加ということで、以前に参加した足和田山のときと同じアルプの方達が結構いらっしゃったので、安心して参加することができました。

吾野駅 見晴台 越上山 エピカ坂 ユガテ 東吾野駅というコースでゴミ拾いをしながら登山をしました。最初、Mさんという女性の方の補助をしました。Mさんの学生時代のお話や様々なお話をし、とても楽しく歩きました。顔振峠に向かう途中、二重の塔があるところで最初の休憩をとりました。紅葉が見頃で、眺めが最高でした。そして見晴台で昼食をとりました。そこからの眺めは休憩のときの眺めとは違う最高の眺めで、そこからは遠くに赤城山がみえました。顔振峠は、義経が絶景のあまり何度も振り返りながら登ったという説があるように、展望抜群で義経が何度も振り返る気持ちが分かる気がしました。

越上山に登り、山頂をめざしていましたが、なかなか着かず、チャレンジコースとなっているとおり、山頂に近づくとつれて岩場で少し危険なところがありました。滑りやすく、恐ろしいと感じる場所もありました。しかし全盲の方がそのような危険なところを着実に登っていたので驚きました。山頂に着くと、山林などで展望がほとんどなかったのが残念でした。しかし山頂に着くと達成感で気持ち良かったです。下る途中は上がり下がり激しかったのですが、話しをしながらだったからかあっという間に下ることができました。ユガテでは、のどかな山林風景が広がっていて、懐かしい日本風景をみることができました。車道にでてから前回の登山でも一緒だった盲目のAさんの補助をし、勉強になるお話をさせていただきました。なによりAさんの明るさに元気をもらいました。東吾野駅に着く頃には真っ暗でした。約7時間の登山でしたが終わってしまうとあっという間でした。自然にふれあうということは普段あまりできないので、新鮮でとても気持ちよい達成感を味わうことができました。なによりアルプの人たちが温かく、色々な話をし、新しい考えや様々なことを学ぶことができたように思います。それから元気と勇気をもらいました。アルプでは障がい者と健常者わけ隔たりなく接していました。健常者の人たちはボランティアをしているというより障がい者、健常者、関係なく共に楽しんでいたように思いました。最初私は盲目の方の補助をする時に怪我をしないようにと思い、緊張していましたが、一緒に山登りを楽しむということが大切であると気づきました。もし困った時にお互いが助け合えばいいのだと思います。

今回このような経験ができてとてもよかったです。2回の登山を通じて様々なことを学ぶことができました。そしてもっと自然を好きになりました。これからも様々な自然に触れていきたいと思います。自然は人の心を豊かにし、私たちに様々なことを教えてくれるように思います。登山はとても楽しい経験ができました。そして最後に、アルプのみなさんで出会えたということが一番の財産です。